

「多摩のまちづくり戦略」(案)の意見募集の結果について

○実施時期：令和7年1月31日(金)から同年3月3日(月)まで / ○意見総数：16通28件

項目	意見概要	東京都の考え方
全体、概要資料	住む人や働く人、訪れる人の顔があって初めて街になっていく気がします。広域を担うからこそ地図から見たマクロな姿と人々の生活、暮らしというミクロを行き来するプランを実行頂きたい。	本戦略は、社会状況の変化などを踏まえ、成長と成熟が両立した多摩の実現を目指して、都の広域的なまちづくりの取組を示すものであるとともに、拠点づくりにおいては、都がプロジェクトとして地元自治体のまちづくりを支援し、ハード・ソフト両面から実効性のある取組を進めるため、3か年のスケジュールなどを示すものです。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
多摩地域の現状と社会状況の変化	<p>多摩地域の発展に関して時系列でコンパクトに変遷がまとめられており勉強になりました。一方で人口推移のみでの評価となっているので「事業者数」「工場数」「沿線乗降者数」など多面的に見たいなと感じました。東京都として多摩地域に対する多くのビジョンがあることは把握しつつも、どうなっていく事を目指すのか？が最終的に人口になっていく印象です。例えば各都市の税収、インバウンドもしくは国内観光客の増加、ビジネス機会の拡大など人口以外にも幅広く目指す指標があってよい気がします。</p> <p>工場の撤退事例が列挙されていますが、各社が何故多摩地域ではない場所に移管せざる得なくなったのか？そしてそこに対して東京都が跡地をどう活用したかというのが知りたいです。日産社の事例はありましたが、工場が抜けても新しい街の生態系が作られており、工場城下町として栄えた北関東の地域が大変な中で多摩地域はなぜそこまで大きな痛手を負わなかったのか？というのも非常にエリアの魅力を物語っている気がします。</p>	<p>多摩地域の現状について、人口、インフラ、産業、生活、防災・環境、農・緑、地域資源の7項目に分類し分析をしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>多摩地域の特性をいかし、地域全体や都の活力の向上を図る土地利用を進めることが重要であると考えております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
目的と位置づけ	「2050年代の多摩」と、当面の計画である令和6年から令和8年の取組スケジュールのギャップがあまりにも離れている感が否めない。中央に示された絵が注目されるが、多摩モノレールの延伸が北側は実線になっているが、南側が破線なのはどういう意味か？2050年には南側も実線になるのではないか？	多摩都市モノレール延伸(箱根ヶ崎方面、町田方面)などの路線については、関係者との協議・調整を加速し、調整が整った路線から順次事業に着手することとしており、計画の熟度に応じて図面を記載しています。
まちづくりの将来像	将来イメージの具体的なものがあるのは分かりやすいです。他の地域でもスマートシティ等の文脈で似たようなパース図をよく見るのですが多摩ならではの部分が各イメージから読み取れませんでした。多摩でしか絶対に体験できないというものは非常に難しいと思いますが多摩だったらベターという事は多くある気がします。東京、国内に先んじた特区にするのか既存の規制緩和をするのか等、日本特有のルールを変更し世界基準もしくは世界初となる試みが出来るポテンシャルを感じています。	多摩地域のポテンシャルや、今後のインフラ整備を踏まえ、2050年代のまちづくりのシーンの例やパースを示しております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目		意見概要	東京都の考え方
		「3まちづくりの将来像」には、「アニメ聖地巡礼の推進」が掲げられており、日本を代表する文化の一つであるアニメーション産業を活用する取り組みは、大変意義深いものと考えます。多摩地域は、都市部に近接しながらも豊かな自然に恵まれ、美しい丘陵の景観や象徴的な駅・ニュータウンなどの建築物が特徴的です。スタジオジブリ作品『耳をすませば』をはじめ、多くのアニメ作品の舞台やモデルとなっており、こうした特性を最大限に活かすことで、まちの魅力をさらに高めることができるのではないのでしょうか。聖地巡礼の推進にとどまらず、アニメ文化を活用した地域観光の促進、新作アニメのロケ誘致、さらにはまちづくり全般への応用を進めることで様々な効果が期待できます。	まちづくりを進めるに当たっては、地域の個性や魅力をいかしていくことが重要と考えております。戦略7では「芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出」において、地域資源を活用し、アニメ聖地巡礼の誘導などを行うとともに、周辺市街地におけるまちづくりに活用することを示しております。 頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
まちづくりの方向性	全体	多摩地域の地域経済が低下して、さらには人口減少の傾向からまちづくりの方向性を示すには理解ができますが、賑わう振興や、イベントの活用などを方向性にしてほしい。	「4.1まちづくりの進め方」においては、2050年代の多摩地域で想定される状況等を踏まえ、「都市機能の集積を図るまちづくり」と「ストック活用型のまちづくり」を地域ごとの人口の動向や社会資本整備などの状況に応じて、選択していくことが重要だと考えております。そして、地域の個性に応じて、7つの分野においてまちづくりの戦略を策定し、それらを組み合わせて具体的な取組を進めることを示しております。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
		コンセプトに連結する具体策方向性は、5年スパン程度で環境変化に併せて適切な見直しをお願いします。	本戦略策定後、着実にまちづくりを推進するため、まちづくりの進捗や社会状況等の変化を踏まえ、随時、プロジェクト等のブラッシュアップを行うこととしています。
		進め方、戦略コンセプト方向性は良いと思います。但し東京戦略2050コメントしましたが、臨海部技術立証を多摩街作りにも反映する循環方程式を確立をお願いします、また、多摩ニュータウン再生ノウハウを板橋高島平地区再生への応用水平展開等をご検討ください。外環道の開通後（まだ時期未定ですが）の地域波及を踏まえた戦略方向性の検討をご準備ください（開通見えていないのでまだ記載していないと思いますが）	頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	戦略1	サテライトオフィスだけでなく、そもそも多摩地域への本社移転を推進するべきではないでしょうか？	戦略1の「持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成」において、既存企業の育成や新たな企業を誘致できる環境づくりを進めていくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	多摩地区の将来的な人口減少が考えられる中、地域の経済活性化と持続可能な発展を実現するためには、法人誘致が不可欠です。特に、多摩地区の法人税を23区よりも低く設定（あるいは23区のみを高く設定）することは、有力な対策の一つとして検討すべきです。これにより、地域経済の活性化と持続可能な発展が実現され、多摩地区が魅力的なビジネス拠点としての地位を確立することが期待されると考えます。	戦略1の「持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成」において、既存企業の育成や新たな企業を誘致できる環境づくりを進めていくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。	

項目		意見概要	東京都の考え方
	戦略2	自動運転による公共交通を充実させると同時に、個人所有者を制限すべきではないでしょうか？	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、自動運転車等の移動手段を充実させ、誰もが多様なモードで自由に拠点にアクセスできる交通環境づくりを進めていくことを示しています。
		人・モノ・情報の自由自在な交流を実現⇒中央線の立体化措置だけでなく、中枢部からの鉄道及び道路両面での東西円滑かつスピーディな移動実現戦略を検討ください（杉並三駅・高井戸IC・中央線並行輸送網等包括的アプローチ）、伊豆諸島・東京を接続する調布飛行場ターミナルの接続利便性向上をご検討ください、	戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、区部や他の多摩地域内の拠点との連携を強化し、交流を促進していくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	戦略5	商業×暮らしという視点で意見を申し上げたい。多摩地域に暮らし続けることに商業面でも不足が無いようにしたい。私も自分が勤務する大型商業施設のリニューアル×地域で持続可能なリニューアルにしたい。	まちづくりを進めるに当たっては、地域の個性をいかしていくことが重要と考えており、戦略5では「まちの持続的な発展のため、都市経営コストの効率化を図りながら、利便性の高い生活と活発な都市活動を実現すること」を示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
	戦略6	住宅地の中に田畑が存在するありえない状態を解消し、住宅地と農業地域を分離すべきではないでしょうか？	既存の地域資源など地域の個性や魅力をいかしてまちづくりを進めていくことも重要と考えております。
	戦略7	東久留米市を箱根や草津のような温泉街としてのブランディングをするのはいかがでしょうか？東久留米市にはスパジウムジャポン(スパジャポ)という関東最大級の温泉施設が既にあり人気を博しております。このような温泉施設の企業を更に誘致し拡大すれば東久留米市を都内唯一の一大温泉街というブランディングができるのではないかと考えます。	戦略7の「芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出」において、豊かな自然などを生かして、多摩ならではの観光体験を創出していくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
まちづくりへの支援策	全体	77ページの図に、「JR中央線三鷹・立川間複々線化」を工夫して入れてほしい。	中央線の複々線化については、コラムの中に掲載しております。当該ページに記載した灰色の線は、広域的な道路・交通ネットワークのイメージを図示しています。
		多摩地域には、アニメの舞台となったスポットが数多く点在しており、全国的に聖地巡礼の地として知られています。この貴重な観光資源や文化資産を最大限に活用し、より多くのファンが訪れやすく、聖地巡礼をしやすい環境を整備するためには、自治体間の連携を強化し、広域的な聖地巡礼ネットワークを構築することが重要です。そこで、「まちづくりマッチングシステム」を活用し、自治体間の連携強化による広域的な聖地巡礼の促進、各地での聖地巡礼イベントの情報共有、観光・地域活性化との連携、ロケーションやプロモーション支援の強化の取り組みを推進することを提案します。	まちづくりを進めるに当たっては、地域の個性をいかしていくことが重要と考えております。戦略7では「芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出」において、地域資源を活用し、アニメ聖地巡礼の誘導などを行うとともに、周辺市街地におけるまちづくりに活用することを示しております。また、まちづくりマッチングシステムについて、様々な主体が持つ専門性や強みを組み合わせることでまちづくりを促進していくことも示しております。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

項目		意見概要	東京都の考え方
TAMA拠点形成プロジェクト	全体	<p>多摩地区における中核・枢要拠点の分散配置について 現在、多摩地区内において中核または枢要な拠点が特定のエリアに偏っているように思えました。多摩地区全体の均衡の取れた発展を促進するためには、各市に最低でも一つずつ中核または枢要な拠点を設置することが重要です。拠点を選ぶ視点としては、以下の点を考慮すると良いと感じました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乗換需要のある駅の活用 2. 地域特性を活かした拠点作り 3. インフラ整備とサポート <p>各市に中核・枢要拠点を設置することにより、地域間の協力体制を強化し、相互の発展を促進することができるのではないかと思います。</p>	<p>「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（令和3年3月策定、東京都都市整備局）において、広域レベルと地域レベルの二層の都市構造を踏まえながら拠点の位置づけを示しており、多摩地域においては、これまで中核拠点として位置付けてきた従来の核都市を「中核的な拠点」として位置付けるとともに、地域の拠点のうち、鉄道乗車人員が特に多い駅(1,600万人/年以上)周辺で区市町村マスタープランにおいて重要な位置付けがある拠点を「枢要な地域の拠点」として位置づけています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
		<p>人口減少のフェーズの中で、現状の市境を単位としてまちづくりを個々に考えると行政負担を担いきれなくなってくる自治体が出てくる現状もあると考えます。そして、どうにもならなくなってから統合しても統合される相互の行政レベルが違いすぎると成立しにくい話も出てくると思います。そのため、広域連携を意図的にエリアで行うこともこのまちづくりの視点として必要ではと考えます。</p>	<p>「6.5 特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進」において、行政界を越えた地域特性を有するエリアのまちづくりを支援していくこととしています。また、「8 TAMAまちづくり推進プロジェクト」（多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸部）や「9 TAMAニュータウンプロジェクト」において行政界を越えた広域的なまちづくりについて取り組んでいくこととしています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	立川	<p>「TAMA拠点形成プロジェクト」に掲げる中核的拠点として掲げられる立川エリアにおいて、拠点づくりの具体的な取組として「多摩川・根川を中心としたかわまちづくり」の追加を要望したい。</p>	<p>戦略6の「四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築」において、かわまちづくりやPark-PFIなど官民連携による河川や公園・緑地の多面的活用の取組を示しております。頂いた御意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
	聖蹟桜ヶ丘	<p>聖蹟桜ヶ丘の魅力さをさらに引き出し、地域の活性化につなげるため、「せいせき観光まちづくり会議」として様々な活動を実施してきた。</p> <p>今後も、聖蹟桜ヶ丘、そして多摩とアニメの魅力さをより多くの方に知っていただけるよう、さまざまな活動を展開していく。これらの経験を活かし、「せいせき観光まちづくり会議」は、「TAMA拠点形成プロジェクト」に貢献し、多摩のまちづくりをさらに発展させていきたいと考えております。</p>	<p>多摩のまちづくり戦略のTAMA拠点形成プロジェクト「地域の拠点：聖蹟桜ヶ丘」における、「拠点づくりの具体的な取組」の一つとして「せいせき観光まちづくり会議」がございます。拠点の個性に応じて、まちづくりを推進していくこととしています。頂いた御意見につきましては、地元市と共有し、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
TAMAまちづくり推進プロジェクト		<p>人口が減少するので、都市機能を集積して、モノレールの延伸などのインフラの新規整備をせず、多摩ニュータウンの範囲も縮小するなど、これ以上、市街地の範囲を拡張しないように誘導した方がよい。それよりも、インフラの老朽化対策をすべきではないか？インフラの老朽化はどれ位進んでいるのか？</p>	<p>少子高齢化や人口減少が進行する中においても、都市の持続的発展を可能とするためには、都市経営コストの効率化を図り身近な地域で快適に暮らすことのできる環境を実現（集約型地域構造への再編）することや、拠点間の交流・連携を促進することが重要であると考えています。</p> <p>インフラの老朽化対策については、都有施設の総合的かつ計画的な管理を推進するための指針として、都有施設等総合管理方針（令和4年3月一部改訂版）を策定しており、この中で、都有施設を取り巻く状況や総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針などについて示しています。</p>

項目	意見概要	東京都の考え方
	<p>多摩のまちづくり推進プロジェクトについても、鉄道の交差化の事業を推進し、踏切の除去していただき、安全安全に利用できるようにしてください。大江戸線への延伸を計画的に推進し、交通局の経営計画に基づき、大江戸線への延伸を協議会に参画していただきながら1日も早く延伸してほしい。</p> <p>P103-117について、まちづくりなど取り組み内容が抽象的な内容が多く、具体的な内容が不明瞭。内容については産学官などの連携により、検討したほうが良い</p> <p>駅のデザインについては周辺の景観に溶け込むような、周辺住民や利用者が親しみやすいものにしてもらいたい</p>	<p>戦略2の「人・モノ・情報の自由自在な交流を実現」において、都市活動を支える道路の確保や交通結節点の整備を進めていくことを示しています。頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p> <p>多摩都市モノレール延伸部（箱根ヶ崎方面）沿線地域のまちづくりについては、有識者や地元自治体と情報共有や意見交換を行いながらプロジェクトのコンセプトなどの検討を進めてきました。具体的な事業内容等については、地元市町と連携し、来年度以降に検討していきます。</p> <p>新規基盤連携型プロジェクト（多摩都市モノレール延伸部）の共通ポリシーにおいて、まちの象徴となるような駅をデザインすることとしています。今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
TAMAニュータウン再生プロジェクト	<p>多摩ニュータウンのことを先行プロジェクトとして「特別に」重視していただく姿勢はありがたいですが、このような計画策定は地元の市が実施するのが第一で、東京都として出来ることは限られるのでしょうか？①諏訪・永山まちづくりについて、衰退が否めない当地区の発展の起爆剤は日本医科大学付属病院の立て直しが必要であり、東京都が踏み込み、健康医療ゾーンとして地区を立て直ししてほしい。②多摩センター駅周辺再構築について、多摩センター駅南口のバス乗り場を中心とする部分を作り直す必要である。③多摩ニュータウン地区の緑は育ち過ぎています。多摩センター駅前のけやき、くすのきが典型ですが、一部を間引き、公共利用用地に活用すべき。</p>	<p>多摩ニュータウンは現在、少子高齢化や施設の高経年化、商業機能の低下等の課題が顕在化しています。このため都が今後のモデルとなる地区での都有地等を活用した先行プロジェクトの実施によりまちづくりを先導するとともに、モビリティの実装を加速していきます。こうした取組については地元市と連携することで、ニュータウン全体に横展開していきます。①～③の頂いた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
コラム	67ページのコラムの内容に励まされました。	中央線複々線化について、関係者と一層連携し、課題の解決に向けた仕組みづくりを推進していきます。